

うたって学ぶしまくとうば

～rainとめぐる沖縄のうた～

赤田首里殿内編

年 組 番 氏名

イントロコーナー

『赤田首里殿内（あかたすんどうんち）』ってどんな歌？

『赤田首里殿内（あかたすんどうんち）』は、沖縄に伝わる手遊び歌・童歌（わらべうた）のひとつ。この歌には、「病気をせずに健康に過ごせますように」という願いと、「作物がよく実り、生活が安定して豊かになりますように」という願いが込められています。このワークでは、沖縄の童謡をとおりして、しまくとうばの意味や音を楽しんでいきましょう！



学習の目標



- ・うたの内容を知ろう : 『赤田首里殿内』がどんな場面・どんな願いの歌か知ろう。
- ・しまくとうばにふれよう : うたに出てくるしまくとうばの意味や音の感じを知ろう。
- ・自分の言葉で伝えよう : 学んだことや気づいたことを、文章にまとめて伝えよう。

1. うたの内容を知ろう

『赤田首里殿内（あかたすんどうんち）』ってどんなストーリー？

Q1. この歌にこめられている願いとして近いものに○をつけよう。

- ①みんなの健康 ②豊作（作物がよく実る） ③平和な暮らし ④ぜんぶ



Q2. 『赤田首里殿内』の歌詞には、「決まった順番（1番・2番）」がないとのこと。あなたはそれを聞いてどう思いましたか？

Q3. 次の（ ? ）に入る言葉は？ 選択肢の中から一つ選んで、○をつけよう。

赤田首里殿内 黄金燈籠提げて それが明かがれば （ ? ） 御迎え

- ①キジムナー ②弥勒（みろく／ミルク） ③耳切坊主（みみちりぼうず）

Q1. 『赤田首里殿内』の歌詞をたのしみながら、声に出して歌ってみよう。

【歌詞（しまくとうば）】

あかたすんどうんち くがにどうーる さ
赤田首里殿内 黄金燈籠 提ぎてい
う あ みるく うんけ
其りが明かがりば 弥勒御迎ー
てーくく みるく うちなー いもー
大国から弥勒 沖縄に参ち
くとうしゆー みるくゆがふー
今年世や弥勒世界報でむぬ
とうかぐ ゆーあみ やふあやふあ たぼ
十日越しぬ夜雨 柔々とう給ち
いだ ふあー う やふあ たぼ
枝ん葉ん折らん 柔とう給ち

シーヤープー シーヤープー
ミミ メー ミミ メー
耳ン前 耳ン前
フィージ フィージ
肘ントー 肘ントー
イユ ミー イユ ミー
魚ヌ目 魚ヌ目

【現代語訳】

赤田首里殿内 黄金燈籠提げて
其れが明かがれば 弥勒御迎え
大国から弥勒 沖縄に参ち
今年世や弥勒 世界報だいもの
十日越しの夜雨 柔々と給ち
枝も葉も折らぬ 柔とう給ち
シーヤープー シーヤープー
耳ン前 耳ン前
肘ントー 肘ントー
魚ヌ目 魚ヌ目

＼ 声に出して歌えたら、手遊びにもチャレンジしてみよう！ ／

Q1. 『赤田首里殿内』の中で、あなたが「おもしろい」と思ったしまくとうばはどれ？

「おもしろい」と思ったしまくとうば：_____

その理由：_____

Q2. あなたが「おもしろい」と思ったしまくとうばを、グループの人に発表しよう！
グループの人がえらんだ“おもしろい言葉”をメモしよう。

もっと調べてみよう！



- ・「赤田首里殿内」を、まだ知らない人に紹介するならどうやって説明する？
- ・「柔々（やふあやふあ）」は、どんな感じの雨だと思う？
- ・「赤田首里殿内」の手遊びもマスターしてみよう！